

第13回 乳幼児の世界

『乳幼児の世界』展 実行委員会 1997年

遊びの発信基地

プロローグ

《開催にあたって》

『乳幼児の世界』展は今年で第13回を迎えることができました。八王子の保育園が実行委員会を作り、保育園の立場から育児情報を発進し続けて、八王子市のみならず、周辺地域、また全国にと存在を知って戴けるようになって参りました。児童福祉法の改正で保育園も新しい時代を迎えようとしています。そんな中、保育園にも情報公開が求められるようになり保育園の中で使っていて便利なもの、簡単に作れて子どもたちが喜んでくれるものを保育情報のひとつと考え、家庭の中にも取り入れていただけたら幸いだと思っています。今回は、今までの会場（八王子駅ビル内市民センター）が閉鎖になり、駅ビル前の八王子スクエアビル内八王子学園都市センターで行うことになりました。会場も代わり今までとは違って気持ちも新たに行うこととなりました。

そして今年『乳幼児の世界』展としては、初めてワークショップを行います。前年までの『乳幼児の世界』展はより良い育児を行うための方法や保育園での工夫などをパネル展示により紹介させて頂きましたが、ワークショップでは手にさわり作れそうなものを作ります。保育園職員が手作りおもちゃの作り方を親切・丁寧にご紹介いたします。なつかしいおもちゃ、はじめて見るおもちゃ、おもちゃを作る楽しさ、親子のふれあい等、楽しみ方はいろいろですが、子どもの頃を思い出して親子で参加していただければと思います。身近にある材料を一工夫するだけで手軽で簡単に子どもの喜ぶおもちゃを作ってみましょう。『遊びの発信基地』をサブテーマにして、作るだけや遊ぶだけではなく作って遊ぶ、また遊ぶために作る。現代社会の中で出来上がったものを与えられて育って来た社会人の私たちがもう一度作る喜びを感じ、身近にあるものを利用して子どもたちの喜ぶものを作るきっかけとなれば幸いです。

この『乳幼児の世界』展が、“より良い育児” “より良い保育”を見いだしていく一つのきっかけとなれば幸甚です。

も く じ

第1章 乳児のおもちゃ

- 1 おはなしゆびさん
- 2 ケロちゃん
- 3 くまさんの百面相
- 4 レーシングローラー
- 5 ギザグネとんぼ
- 6 空き缶ドラム
- 7 逆さ万華鏡
- 8 鳴く動物・モーモーうしくん・バウ
- 9 ワウワンちゃん
- 9 ミラクル・キューブ

第2章 絵本

手作り絵本って？ 手作り絵本のとじ方

- 1 おみせやさんのえほん
- 2 きせかえ絵本
- 3 毛糸であそぼう
- 4 おはなしパズル
- 5 とびだし絵本
- 6 形に親しむ絵本
- 7 シルエット画絵本

第3章 食事

- 1 牛乳パックのはしたて・牛乳パックの足台
- 2 はしおき・ランチ旗
- 2 お箸を使ってあそぼう・平織り食卓グッズ
- 4 コースター
- 5 花（食卓花）・エプロン
- 6 かくれんぼうや
- 7 キャンディーボックス
- 8 ポンポンスタンプカレンダー1998

第4章 乳児のおもちゃ

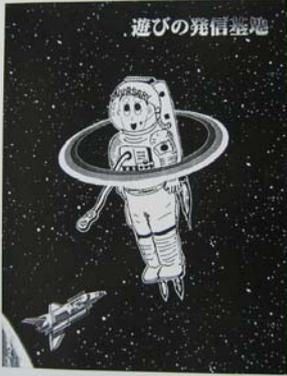
- 1 ダンシングヒヨコ
- 2 おきあがりこぼし
- 3 ぱちくりプー
- 4 のび〜るトレイン
- 5 ブーブーANIMAL
- 6 何がでてくるかな
- 7 お顔くるりんペンダント
- 8 万華鏡

第5章 アウトドア

- 1 ボールをポン
- 2 虫と仲良しセット
- 3 スカイピンポン
- 4 ロケットを飛ばそう
- 5 すな絵
- 6 ビューンビューンロケット
- 7 それいけフリスビー
- 8 パラシュート

第13回『乳幼児の世界』

遊びの発信基地



『乳幼児の世界』展 実行委員会



〈かくれんぼうや〉

「今日のおやつはなにかな?」

●ねらい・目的

かくれんぼなど子供たちの好きな遊びを食事にも生かし、おやつに対する期待や興味を持たせる。食べること以外にも楽しいことがあると、毎日のおやつも、より楽しく、又苦手なものでも、楽しい雰囲気の中で食べられるようになる。



●対象年齢：1歳～6歳

●製作材料：画用紙（色画用紙を含む）サインペン、リボン、テープ、のりなど

●作り方：

- ①色画用紙で半円を作り、円すいをつくる。
 - ②画用紙を丸切り、サインペンで顔を描く。
 - ③別の色画用紙で、飾りを作る。
(ハート型、星型、動物の型、乗り物型等自由)
-
- ④①の円すいに②と③をのりで貼る。
 - ⑤持ちやすいように、円すいの上の部分に、リボンをつける。
 - ⑥おやつをのせたお皿の上に、かぶせれば、子ども大喜びの「かくれんぼうや」のできあがり!!

●使い方：

画用紙を使って、おやつを楽しくするお皿カバー。おやつを子供たちに出す時に、「かくれんぼうや」で、お皿にカバーをし、中が見えなくなるようにする。さあ、今日のおやつは何かな? と子供たちに聞いかけると、楽しいおやつの始まりです。



(文責 中田葉子、富田幸子)